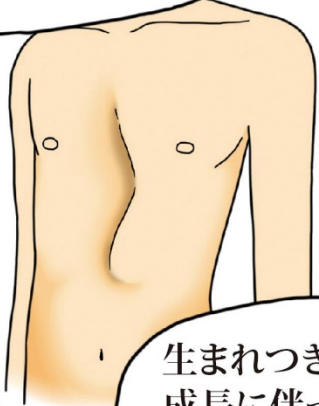


『胸のかたち』を 治す治療



漏斗胸(ろうときょう)は
胸の一部が凹む
変形です



生まれつきのことも
成長に伴って
生じることもあります

胸のかたちが凹んで
いるために劣等感をもち
内向的になったり…

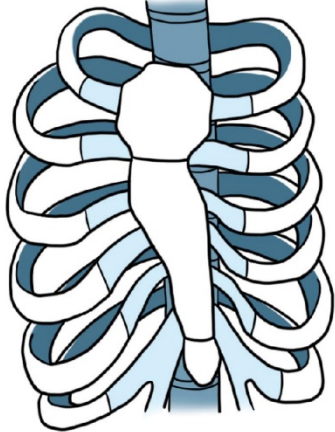


心肺機能が低いために
激しい運動ができない
問題があります

漏斗胸の本質は「あばら」の変形です

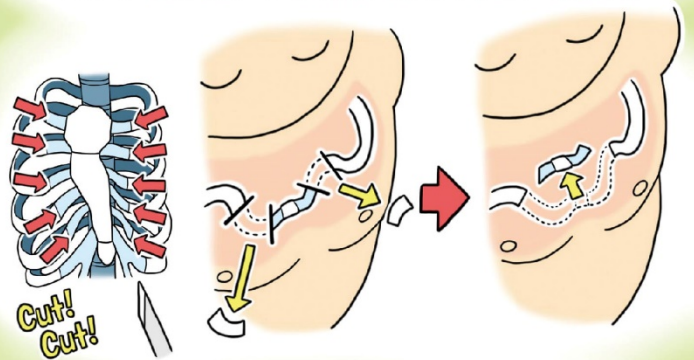


正常の胸郭

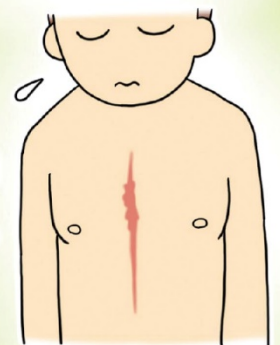


漏斗胸の胸郭

20年ほど前までは、変形した骨を切り取る
「ラビッチ法」という手術が行われていました



しかし、胸部に
長いキズ跡が残り
美しい結果を
得ることは
困難でした…



かわって登場したのが「ナス法」です

ナス法では胸郭の中央部を前に向かって引き出した上で

金属のバーを用いて形を保ちます

キズもラビッチ法よりも小さく身体への負担も少なくてすみます

こぼけ!

また、肋骨の組み換えなど高度な形成外科の技術を使わなくても手術は可能なため医師にとっても取り組みやすい方法です

Nuss Procedure

このため2000年頃から日本に普及してきたナス法は10年程度の期間で非常に普及しました

ナス法

しかし「治す」と「美しく治す」ことは違います
美を追求する専門家としての形成外科医から見ると
まだまだ改善すべき問題はたくさんあります

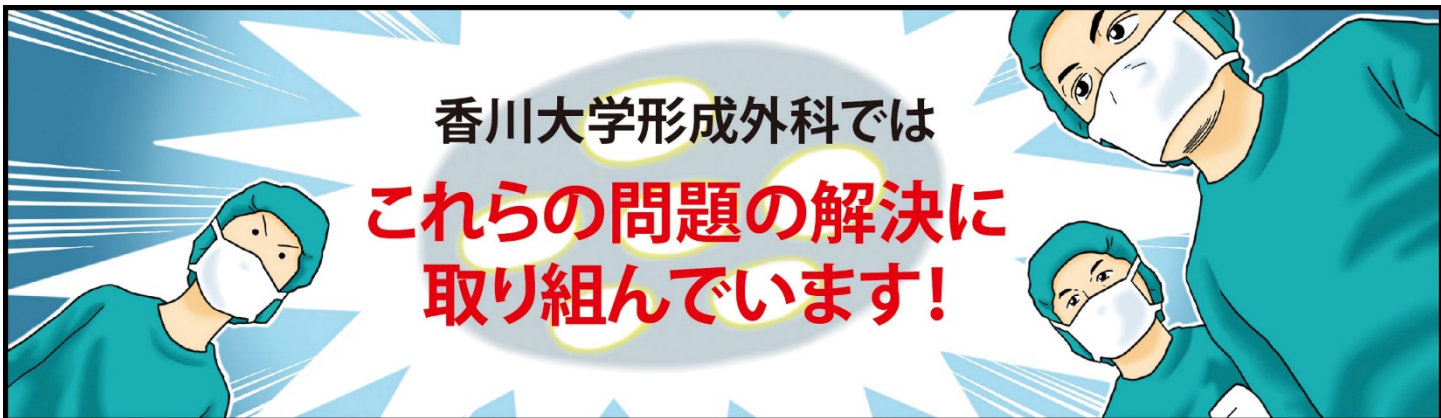
左右が非対称な場合にはなかなかきれいに治せません

バーを抜去すると再び胸が凹んでしまうことも…

改善するにはどうすれば…

女性の患者さんでは乳房の非対称も存在しますがこれについてもナス法では解決しません

成人の患者さんでは手術後に痛みが強い場合があります



香川大学形成外科では
**これらの問題の解決に
取り組んでいます!**

まず最新式の手術機器・診断機器を用いて新しい手術方法を開発しています

内視鏡手術の様子

また数百例におよぶ臨床経験に基づき外科医に手術を教える教科書を執筆したり

ナス法では治しきれない変形を、培養細胞を用いて治療する再生医学プロジェクトに取り組んでいます

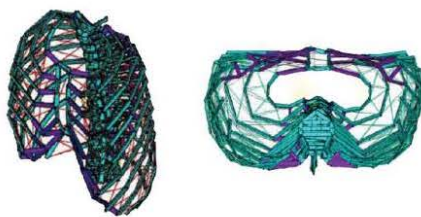
香川大学形成外科では漏斗胸以外に乳房の美容手術もおこなっています

女性の漏斗胸に対してはこの技術を応用し乳房のかたちも含めて美しく治します

麻酔科の医師と共同で徹底した管理を行い

痛みの少ない治療を行っています!

さらに国立の総合大学であることを
活かし工学的な技術も導入した
先進研究も行っています
(文部科学省・科学研究費を受託)



このように香川大学形成外科は
「美しく胸のかたちを治す」活動の
フロントランナーとして
努力を重ねています

四国・中国はもとより
関東や近畿地方からも
たくさんの患者さんに
受診していただいています



担当は
永竿(ながさお)教授です

診察日は
月曜(午前)
木曜(午後)です

胸のかたちで
お悩みの方は
ぜひ香川大学附属病院を
ご受診ください
メールでの相談も
受け付けていますよ

詳しくは、
”香川” ”漏斗胸” で検索を

